

世界史

北海道大学 総合入試【文系】学部入試【文】 1/2

1

- 問1 (ア) ネロ帝 (イ) ペテロ
- 問2 ミトラ教 (ミトラス教)
- 問3 (ア) クローヴィス
(イ) 先住のローマ人貴族を支配層に取り込むとともに、ローマ教会の支持を得て、西ヨーロッパの中心勢力となった。また、アリウス派との戦争を正当化し、ブルグント王国などを滅ぼして全ガリアを統一した。
- 問4 ムスリムであれば非アラブ人でも人頭税のジズヤが免除され、征服地に土地を所有すればアラブ人でも土地税のハラージュが課された。
- 問5 植物や文字を図案化した装飾文様を特徴とした。イスラーム教は偶像を厳格に禁止しており、図Bのように人物を描かなかつたから。
- 問6 ベネディクトゥス
- 問7 (ア) シチリア王国 (両シチリア王国)
(イ) 河川を遡れる細長く底の浅いヴァイキング船の造船と操船の技術、騎馬を輸送する技術、あぶみをつけて槍と盾で戦う騎馬術に優れた。
- 問8 ヨーロッパでは、宗教改革によりプロテスタントの勢力が拡大していた。
- 問9 (ア) 東側：アカプルコ 西側：マニラ
(イ) メキシコ銀が東側から、中国の絹・陶磁器が西側から運ばれた。

2

- 問1 A：万暦 B：李自成 C：金（後金，アイシン） D：台湾
- 問2 宋や元では、朝貢貿易も行われたが、民間貿易が盛んで中国人の進出も活発化し、市舶司を整備するなど貿易が奨励された。明では、民間貿易を禁止して朝貢貿易に限定し、貿易が政府により厳格に統制された。
- 問3 国王がイスラーム教に改宗したことで、西方のムスリム商人の勢力との関係が強化され、ヒンドゥー教のマジャパヒト王国を抑えた。また、マラッカを拠点にジャワなど諸島部のイスラーム化が進んだ。
- 問4 (ア) 土木の変 (イ) オイラト
- 問5 交易の利益を求めて明の統制政策を打破するために活発化させた。これに対し、明はモンゴルと交易を行う一方、海禁を緩和した。
- 問6 (ア) 木版印刷 (イ) 『三国志演義』
- 問7 (ア) 三藩の乱 (イ) 呉三桂
- 問8 康熙帝は、強大化したジュンガルを破って外モンゴルを従え、ジュンガルがチベットに勢力を伸ばすと、対抗してチベットを保護下に入れた。乾隆帝は、ジュンガルを滅ぼして東トルキスタンを占領した。

世界史

北海道大学 総合入試【文系】学部入試【文】 2/2

3

- 問1 A: ボストン茶会事件 B: トゥサン=ルヴェルチュール
C: パリ D: ポルトガル
- 問2 独立運動を担ったクリオーリョによる大土地所有制が存続し、貧富の差や寡頭支配などが残った。プランテーションによるモノカルチャーへの依存も続き、独立を支持したイギリスなどに経済的に従属した。
- 問3 (ア) イラクなどはイギリスの、シリアはフランスの委任統治下におかれた。
(イ) トルコ語の表記において、アラビア文字にかえてローマ字を採用した。
- 問4 (ア) ウィルソン
(イ) ヨーロッパにのみ適用され、アジア・アフリカには適用されなかった。
- 問5 平和五原則
- 問6 パレスティナでアラブ人とユダヤ人が対立する中、シオニズムを唱えるユダヤ人が国連決議を受けてイスラエルの建国を宣言した。アラブ諸国が反発して第一次中東戦争が勃発したが、イスラエルは独立を維持した。
- 問7 (ア) ティトー
(イ) ソ連の指導を拒否し、第三勢力と協力して非同盟主義をとった。
- 問8 ムスリム・クロアチア人は独立に賛成し、セルビア人は反対した。